北川市長と日本共産党議員団

日本共産党議員団　北川市長に
2018年度　予算要望書を提出

日本共産党議員団は、11月13日に２０１８年度予算要望書を北川法夫市長に提出しました。予算項目は、29の重点項目、国府への26項目、分野別１２０項目、合計１７５項目となりました。

重点要望のうち主な項目を掲載しました。（議員団ホームページに全文掲載）

●ごみ減量プロジェクトを積極的に推進し、ごみ減量目標を達成すること。
●国民健康保険制度の都道府県単位化に伴う保険料引き上げは行わず、保険料を引き下げること。本市の減免制度は存続させること。
●介護保険料を抑制し、保険料・利用料の減免制度を創設すること。
●中核市移行については、現行の水準を維持向上させるため必要な専門職の確保や条件整備を行うこと。
●学童保育の土曜開所にあたっては、子どもの安全確保のためにも全小学校で実施すること。
●市職員の長時間勤務の実態を把握し、健康管理を行うこと。
●中学校給食については、温かいもので、子どもが喜んで食べられるものに抜本的に改善すること。
●認可保育所の３歳児以上の完全給食を実施すること。
●本市の実状に見合った子どもの貧困実態調査を行い、貧困対策推進計画の策定を検討すること。
●35人学級を計画的に進めること。当面、小学４年生に広げること。
●小中一貫校の設置については、関係者と地域の合意を前提として、現場の声を聞き、慎重に対応すること。
●小中学校の給食費の無償化を検討すること。当面、第３子の無償化を具体化すること。
●あかつき・ひばり園については、計画として引継ぎ最後の年度となることから、法人職員が市職員から少しでも多くのことを学べるように、保護者・関係者の意見を聞き、可能な限り市職員を園に残すこと。担当ラインの体制を強化し、法人の職員確保については市が責任をもつこと。
●公共施設と市内４駅など主要な施設での受動喫煙対策を進めること。
●地域公共交通網形成計画の策定については、高齢者や障害者、子育て世代の声を聞き、各地域の特徴を反映できるような計画にすること。当面、４駅から公共施設へのバスの往復直通便の確保を検討すること。
●廃プラ処理の見直しで、健康被害の解消を進めること。
●司書の新規採用を行い、すべての図書館に配置すること。

寝屋川民報 議会版
発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
（内線2399）
FAX：824-7760
No.2958

石本えりな
太秦元町9－2－203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2－49－2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4－33
090-3944-8385

西田まさみ
石津中町30－3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2－16－11
090-1025-7503

ごみ焼却量の月別推移

6か月で1030トン減量

寝屋川市は、平成29年から31年の3年間で、燃やすごみの量（焼却処理量）を1万トン減量する計画を進めています。

29年度は、3000トンの減量が目標です。

今年4月から9月までの焼却処理量を昨年度と比較すると、6か月間で1030トンの減量となりました。（左表参照）

1年間で3000トン減量するには、6か月間で1500トンの減量が必要です。昨年のごみ減量は、一昨年比で、年間1257トンの減量でした。

ごみ減量・プロジェクト

～1万トン減らそう　未来のために～

焼却処理量

（単位：t）

	平成28年度	平成29年度	増減量
4月	4,893	4,686	▼206
5月	5,197	4,727	▼469
6月	4,730	4,820	89
7月	4,956	4,540	▼415
8月	5,000	4,785	▼214
9月	4,577	4,764	186
10月	4,804		
11月	4,852		
12月	4,786		
1月	4,605		
2月	3,630		
3月	5,054		
合計	57,083	28,322	▼1030

遠隔手話通訳
外国語翻訳サービス始まる

10月から市民窓口などでタブレット端末を使って、遠隔手話通訳が可能となりました。

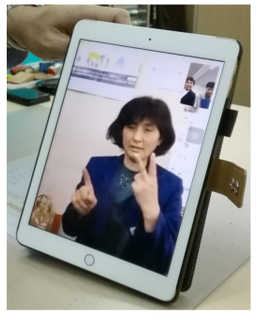
遠隔手話通訳は、テレビ電話機能を通じて、障害福祉課にいる手話通訳職員とやり取りができます。

また、翻訳アプリによる外国人のコミュニケーションも英語や中国語のほか、54カ国語以上に対応しています。音声から文字への変換、翻訳が可能な機能により、効率よくコミュニケーションがとれるようになります。

住民票の移動手続き、戸籍の届出、国民健康保険の各種届出などで利用できます。

設置窓口は、市民課、寝屋川シティ・ステーション、保健事業室、障害福祉課です。

今後、遠隔手話・外国語翻訳サービスの周知を図り、当事者の意見を聞き改善等も行っていきたいとのことです。



窓口に置かれたタブレット端末

建設水道常任委員会視察

高宮あさひ丘配水場

11月6日に建設水道常任委員会で高宮あさひ丘配水場へ視察に行きました。

第9期施設等整備事業計画に基づき、平成28年度から平成30年度までの3か年継続事業にて、旧配水池の更新工事及び送水ポンプ室の耐震化工事等を実施しています。

今年度は2年目となり、前年度取り壊した旧配水池跡地に、新たにステンレス製配水池の築造がされています。

完成後は水道施設耐震化率100パーセントを達成すると共に、配水実績に見合った配水池容量及び排水ポンプ台数減などのダウンサイジングの実施の他、配水区域変更に伴う水運用の効率化・安定化を図ることができます。

平成28年度に旧配水池の撤去を実施しており、現在、基礎コンクリート打設が完了し、ステンレス製配水池を施工がされています。

完成予想写真

ステンレス製配水池内部

議員日誌

石本えりな

11日に子どもたちの秋祭りが保育園で行われました。

たくさんの子どもと保護者が参加しとてもにぎやかに行われました。

子どもたちは、友達と一緒にお店を色々まわっていました。

オープニングで長女が太鼓をしました。太鼓も夏祭りで見たときよりも上手になっていて、とても力強くたたけるようになり、ポーズもなかなか様になってきていました。保護者からもたくさんの拍手があり、子どもたちもとても嬉しそうにしていました。

来年は長女が小学校になり、保育園に通う子どもが1人になります。3人通っていたのに子どもの成長は早いなと感じます。

今後も子どもたちが安心して暮らせるようにがんばっていきたいと思います。